

講演・ワークショップの開催報告

久田 英樹

「こどもの城流働き方～手の内明かします～」と題して、諫早市が運営するこどもの城館長の池田氏をお招きし、講演・ワークショップ（体験型講座）を開催しました。城流コミュニケーション術をワークショップにて体験して頂き、日頃の業務や生活でのコミュニケーションの取り方について学びました。

コミュニケーションは、「こうすればこうなる」、「あーすればあーなる」というものではなく、一人一人が相手を意識し受け止め、自分と相手との思いやりの心から、良好な関係が生まれてくるもので、千差万別の方法の中から、自分に合ったコミュニケーションの取り方を選ぶ必要があります。

この研修のワークショップでは、トイを使った心のキャッチボールや皆でフラフープを下げるという共同作業を実践して、コミュニケーションの取り方は、どのようなものかを体験して頂きました。

参加者の皆さんは、日頃の業務のストレスから解放されて、和気藹々と時間のたつのも忘れ、すいこまれるように課題に集中し、最後は、笑顔でリラックスできました。

記

日時：9月25日 13:30～16:30

場所：総研棟 2階多目的ホール

講演とワークショップ

題目：こどもの城流働き方～手の内明かします～

講師：こどもの城館長 池田 尚氏

教育研究支援部講演・ワークショップ
**こどもの城流働き方
～手の内明かします！～**
講師：こどもの城館長
池田 尚氏

こどもの城は、年間10万人以上の利用者が来場する諫早市白木峰高原にある児童健全育成施設です。その中で16名のスタッフが安全管理・危機管理はもちろん、上司や部下との良好なコミュニケーションを取りながら、こどもの城を運営しています。
今回、城流働き方の講演を聴講し城流コミュニケーション術をワークショップにて体験して頂くことで、日頃の業務や生活に役立てて頂ければと思い、本講演を企画致しました。
人と関わる経験の豊かな池田氏から、皆様の役に立つお話がきっと聞けると確信しております。皆様の参加お待ちしております。

日時：平成29年9月25日（月）
13:30～16:30
場所：総研棟2階
多目的ホール
対象：工学部・工学研究科
教職員とその家族

講師プロフィール：
北九州大学教育学部卒業後、中学校教員40年、
平成15年文部科学省入庁、平成25年福岡少年連
盟理事長
平成19年国立諫早大学自150周年記念講座
「平成19年諫早市立諫早高等学校、こどもの城」を
受託する中で、市民活動推進員、議員、理事になる。

持ってくるもの：**楽しむ気持ち！**
服装：**リラックスできる服装**

お申し込みはメールか電話で9月15日(金)までにお願します。
申し込み先：教育研究支援部 久田 英樹 hysta@nagaoka-u.ac.jp TEL.819-2535

主催：長崎大学大学院 工学研究科 教育研究支援部
〒852-8521 長崎市文政町1-34



図1 池田氏の講演の様子



図 2 フラフープを使ったコミュニケーションとは



図 3 研修会の締めくくりはスキンシップ



図 4 参加者で記念撮影